

環境経営レポート



2023 年度

(対象期間 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)
(活動期間 2023 年9月1日～ 2024 年3月31日)



本社・工場全景

発行日: 2024年6月10日

目 次

頁 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	13
これまでの環境活動の紹介	13



米子舗材株式会社は次世代へと続く、鳥取圏域道路ネットワークの発展を目指します。

豊かな暮らしを支え、次世代への夢の懸け橋に…、鳥取圏道路ネットワークづくりに貢献する。

私たちは、「脱炭素経営」を念頭に置き企業価値を高め、道路インフラ整備を通じて地域に安心を長く提供し地域社会からより信頼される企業でありたいと願います。

米子舗材株式会社は次世代に向けて、信頼と機動力を集結し、クオリティの高いサービスを提供し、地域活性・環境整備を目指します。

常に「お客様のニーズにお応えします」

環境経営方針

《環境経営理念》

米子舗材株式会社は、「確かなものづくりを通して豊かな社会の実現に貢献します」を踏まえて、<スローガン>『地域と共に歩む 安心の要、物流の要、産業の要 常に「お客様の立場に立って考え行動する」』を掲げ、“地球環境保護の立場から、自然との調和を考え環境関連法規や業界規範を遵守し、『脱炭素経営での環境負荷の削減を目指した確かなものづくり』に取り組めます”の実践に向けて、本業であるアスファルト混合物/乳剤の製造販売活動を通じて地域社会に貢献いたします。

地域の方々が「道路は通行できてあたり前の暮らし」を実感できるよう社会生活基盤を調え、快適で豊かな生活環境を創ること、これが私たちの使命です。

製造業固有のものから地球環境に至るものまで数多くの環境問題に関心を持ち、持続可能な社会になるよう、環境経営活動に自主的・積極的に社員一丸となって継続的改善に取り組んでまいります。

環境経営への行動指針

1. 課題とチャンスをつまえて、業務改善に取り組めます。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 創意工夫による省エネルギー等により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
4. 廃棄物の発生抑制に努め、副産物のリサイクルループの向上に努めます。
5. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
6. 化学物質など使用適正管理に努めます。
7. 環境配慮製品の製造・販売プロセスの改善に努めます。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日： 2023年9月1日

代表取締役社長 浅野 大祐

組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
米子舗材株式会社
代表取締役社長 浅野 大祐
- (2) 所在地
本社・工場 鳥取県米子市古豊千372
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役 浅野 大祐 TEL: 0859-27-1431
- (4) 事業内容
アスファルト合材(加熱、常温)の製造販売、アスファルト乳剤の製造販売、その他建設資材の販売、産業廃棄物の中間処理業、

- (5) 事業の規模
設立年月日: 2017 (H29) 年4月18日 資本金: 2,000万円
売上高 (2023.9~2024.3) 25,098 万円

		本社・工場				合計	
従業員	名	6	名				6
延べ床面積	m ²	420	m ²				420

受託した産業廃棄物

中間処理量 (2023/9~2024/3実績)	870 t
-------------------------	-------

産業廃棄物中間処理施設概要

事業の範囲	中間処理施設(再生利用)	
施設の種類 (処理方式)	鉱さいの再生利用施設(アスファルトプラント)	
処理能力	鉱さい	36t/日(4.6t/時間×8時間/日)
保管施設	鉱さい	保管容量83m ³ (保管面積48m ² 、保管最高高さ2.4m)
設置年月日	平成9年1月22日	

主要設備

名称	台数	備考
アスファルトプラント	1 基	
合材サイロ	2 基	
As乳剤タンク	1 基	
ホイールローダ	1 台	
スィーパー清掃機	1 台	
営業車	2 台	

- (6) 事業年度 4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 米子舗材株式会社
 対象事業所: 本社・工場
 対象外: なし
 活動: アスファルト合材の製造販売、アスファルト乳剤の販売、建設資材の販売、産業廃棄物中間処理業

事業の紹介

安全・あんしんを追求した限りの無い品質への取組
アスファルト混合物製造販売事業者として、地域に安心と安全を長く提供して行きたいと思えます。

・舗装工事業業：物流ネットワークを支える確かな技術

舗装事業は、NIPPOグループの主たる業種となります。長年培われた技術力と、環境・社会変化に対応する「確かなものづくり」で、地域の皆さまの信頼にお応えいたします。

・維持工事業業：安全かつ快適な道路交通を目指す確かな技術

「道路は通行できて当たり前」を目標とし、24時間体制で道路維持整備に取り組んでいます。

【当工場での環境負荷緩和設備導入の概要】



コールドホッパーエリアの防塵整備状況（全景）



コールドホッパー屋根部集塵装置の整備状況



乾燥エリアのバクフィルター（集塵装置）整備状況



排気臭気装置での悪臭抑制実施状況

主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,076,893	1,117,467
受託中間処理量	kg	1,200	1,435
廃棄物排出量	—	—	—
一般廃棄物排出量	kg	227	218
産業廃棄物排出量	kg	829,640	1,126,403
水使用量	m ³	309	260
※二酸化炭素排出係数		0.521	—

kg-CO₂/kWh

環境経営目標及びその実績

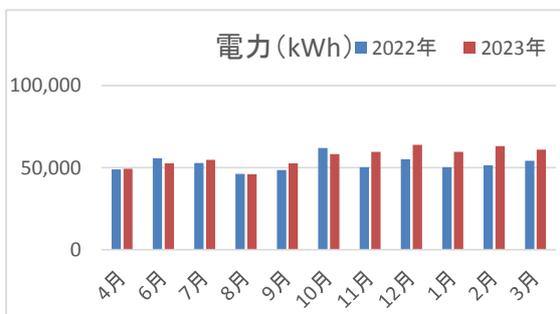
項目	年度	2022	2023		評価	2024	2025
		(基準値)	上段: 通期 中段: 活動期間集計値 (目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力によるCO ₂ 排出量削減	kWh	634,812	622,116	—	×	609,420	603,071
	活動期間	372,078	364,636	418,757	×	—	—
	基準年度比		98%	113%		96%	95%
	kg-CO ₂	330,737	324,122	—	×	317,508	314,200
	活動期間	193,853	189,976	218,172	×	—	—
	基準年度比		98%	113%		96%	95%
AP/重機車両等によるCO ₂ 排出量削減	kg-CO ₂	745,516	708,240	—		693,330	670,964
	活動期間	482,996	458,846	220,980	○	—	—
	基準年度比		95%	46%		93%	90%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	676,849	648,822	439,152		1,010,837	985,165
一般廃棄物の排出量削減	kg	227	215	—		211	204
	活動期間	133	126	122	○	—	—
	基準年度比		93%	92%		93%	90%
産廃物の再資源化の推進	再資源化%	100%	行動目標(次項による)				
	活動期間		—	100%		—	—
水道水量の削減	m ³	288	274	—		268	259
	活動期間	192	182	177	○	—	—
	基準年度比		95%	92%		93%	90%
化学物質使用の適正管理	行動目標(次項による)						
環境配慮した製造プロセスの推進	行動目標(次項による)						
環境配慮製品販売の推進	行動目標(次項による)						
地域の環境保全活動に参加	行動目標(次項による)						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力によるCO2排出量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【累計目標：未達成】218,172/189,976 ・節電活動は実施できているが製造繁忙期となり計画比115%となっている。 ☆引き続き、不必要な照明・待機電力のカット活動を継続する。 特に、空調機器の適温設定を節電掲示により徹底取組む。 また、自動センサー等のこまめな清掃点検をする。
原単位目標	—	
・出荷予定を考慮しAP設備のヒーター効率的な使用	○	
・ムダな電力消費でのAP設備の起動回数を減らす	△	
・AP設備の故障/不具合発生時は速やかに点検整備	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・空調機の定期点検/フィルター清掃の励行	△	

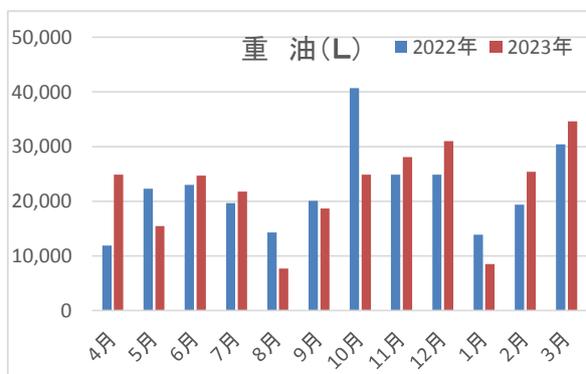


取組紹介欄



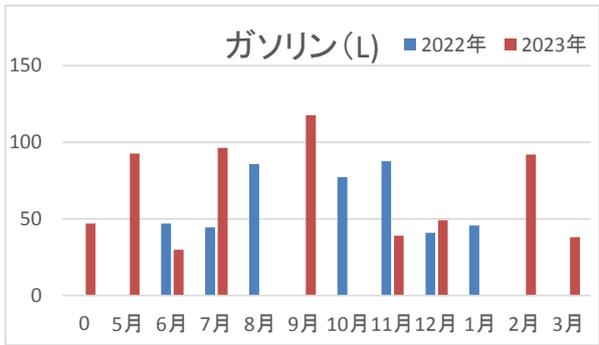
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	49,038	58,680	55,884	52,806	46,326	48,516	62,010	50,352	55,176	50,268	51,486	54,270
2023年	49,324	45,267	52,671	54,816	46,032	52,649	58,400	59,743	64,001	59,732	63,214	61,018

A P/重機車両等によるCO2排出量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	累計目標：達成】220,980/458,846 参考指標⇒生産高前年比 67% 累計値で期間計画比48%となっているが、引続き変化状況を注視する。 ☆削減対策の目標達成手段の取組みは実行されているが効果が現れていない。
・材料供給量/設定温度の変化をさせず低燃費運転	○	
・合材サイロ活用運転でバーナー着火回数を少なく	○	
・運搬車両等の省エネ運転の推進	○	
・エコドライブ10のすすめの徹底	△	



取組紹介欄

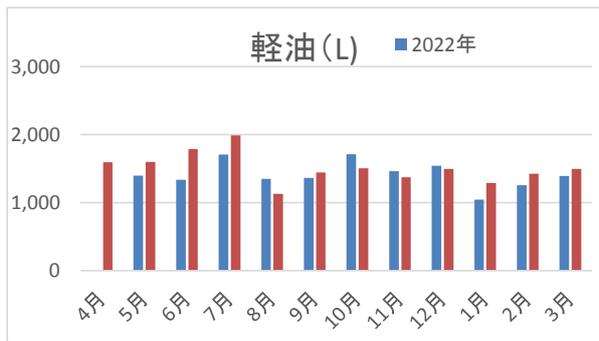
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	11,900	22,300	23,000	19,700	14,300	20,100	40,700	24,900	24,900	13,900	19,400	30,400
2023年	24,900	15,500	24,700	21,800	7,700	18,700	24,900	28,100	31,000	8,500	25,400	34,600



取組紹介欄



	0	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	0	0	47	45	86	0	77	88	41	46	0	0
2023年	47	93	30	96	0	118	0	39	49	0	92	38



取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	0	1,397	1,339	1,707	1,353	1,367	1,714	1,462	1,543	1,044	1,258	1,393
2023年	1,597	1,599	1,788	1,991	1,132	1,447	1,508	1,375	1,495	1,289	1,427	1,496

一般廃棄物の排出量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【累計目標：達成】 122/126 ・ゴミ排出量は把握管理できている。計画比97%で達成できている。 ☆コンビニ発生ごみは、社内に持帰らないようにする。
・分別・回収の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	△	
・電子データ帳票化見直しによる印刷物の削減	△	
・梱包材の再利用	○	



取組紹介欄

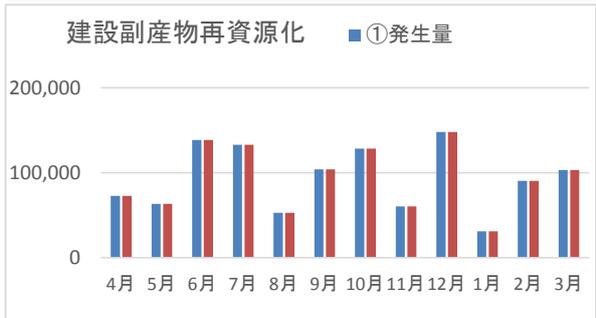


ゴミ箱への分別表示



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	19	16	19	21	19	19	19	20	18	18	18	21
2023年	20	18	21	19	18	20	20	16	18	14	14	19

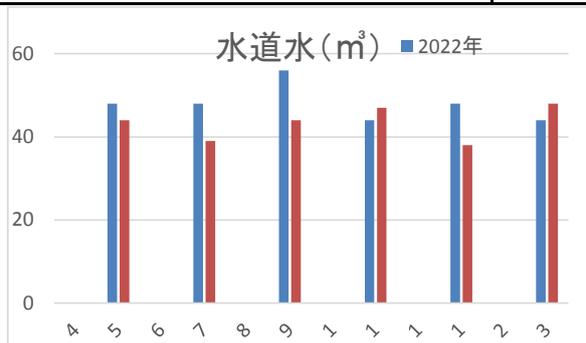
産廃物の再資源化の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
行動目標のみ	-	【取組み維持活動：良好】 ・産業廃棄物は、適切に再資源化で適切処理に供している。 目標計画達成手段は、継続する。
・分別/回収の徹底	○	
・混合廃棄物の削減と分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	△	



取組紹介欄

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①発生量	73,000	63,601	138,701	133,000	52,800	104,000	128,300	60,301	148,000	31,000	90,400	103,300
②再資源化量	73,000	63,601	138,701	133,000	52,800	104,000	128,300	60,301	148,000	31,000	90,400	103,300

水道水量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【累計目標：達成】177/182 ・節水活動結果として目標比 97%で達成となっている。 ※引き続き節水活動に取組む、特に別途用水は、必要使用量を事前確認のこと。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水ホースの水栓弁取り付け	×	
・漏水チェックの実施	△	



取組紹介欄



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	0	48	0	48	0	56	0	44	0	48	0	44
2023年	0	44	0	39	0	44	0	47	0	38	0	48

取組紹介欄

化学物質使用の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
行動目標のみ	-	【取組み維持活動：良好】 ・使用化学物質のSDSシートは収集受理でている。 ※引き続きSDSシート回収でリスク発生防止に展開を行う。 ◆化学物質使用前にPRTR法適用を確認調査する。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・SDSシートの取寄確認及び教育実施	△	
・管理シート作成	×	

取組紹介欄

環境配慮した製造プロセスの推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
行動目標のみ	-	【取組み維持活動：良好】 ・外部情報入手から作業手順書を改訂して、環境配慮・安全製造プロセスに取り組んでいる。 ★今期環境関連設備は、順調に整備展開できている。 ※引き続き環境配慮製造を優先的に選択する。
・環境対応/省エネルギー設備の導入採用	○	
・中温化混合物の製造設備対応	○	
・AP設備の自主保守/定期点検の励行	○	

取組紹介欄

環境配慮製品販売の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
行動目標のみ	-	【取組み維持活動：良好】 ・環境配慮型商品のカタログ提供での周知活動は継続されている ※引き続き環境配慮型商品情報の収集把握と周知対応実施する。
・異業社副産物利用混合物の活用提案	○	
・再生循環型製品カタログの配布	○	
・環境配慮型製品情報の収集把握	△	

取組紹介欄

地域の環境保全活動に参加	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
行動目標のみ	-	【取組み維持活動：良好】 ・地域の一斉清掃に参加できている。また、周辺道路水路清掃も実施できている。 ※引き続き地域環境活動時には、積極的に参加する。
・地域清掃活動への参加	○	
・工場周辺道路水路の清掃	○	
・地域社会の環境保全活動への積極参加	○	

取組紹介欄



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守評価
廃棄物処理法	中間処理業許可、産業廃棄物排出事業者(がれき類、廃プラ、木くず等)	○
騒音規制法	アスファルトプラント、空気圧縮機、送風機	○
振動規制法	アスファルトプラント、空気圧縮機	○
下水道法	除害施設	○
消防法(危険物)	危険物の保管	○
フロン排出抑制法	業務用空調機、建設重機空調	○
プラスチック資源循環促進法	排出抑制、教育周知	○
顧客要求事項	環境対応	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

外部からの環境苦情等の受付は、有りません出した。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年10月3日	■実施場所 本社・工場
■参加者： 総務係製造係	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： ・手順書での試行及び訓練実施は、計画とおりに実施できた。 期限切れの消火器使用での訓練は緊迫感効果があり参加者の緊急対応意識の植付けは効果があった。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2024年4月20日

【環境経営活動への取組結果状況】

7:月間の取組み経過で全員参加での良い取組みが継続できているが、出来高の変化の影響を受けて全ての取組みでの達成では無いが大きな問題点等はない。(売上高変化での総量CO2の変化あり)

現状活動に満足せず、日頃の継続的な改善活動を通して法令順守と環境保全の意識向上を図り、従業員チームの実践行動向上により地域社会と顧客様への当社信頼性を高めて企業価値の向上で当社の事業継続性に繋がる取組みを目指す。

【課題とチャンスへの取組み】

・『グループ会社としての4つの課題の取組み』については、【良い会社づくり】に繋がる重要な事項であること意識付け向上を図り、より効果のある具体策へと進化させていくことが求められる。

【法令遵守状況】

・工場パトロールや法令順守チェックを通じて順守状況は確認できている。

今後も環境法令等については情報把握と周知徹底をすること。

分からないことがあれば、上司にホウレンソウで確認すること。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

これまでの環境活動の紹介



環境安全衛生協議会でのEA21教育実施状況



地域自治会との定例協議会開催実施状況



アスファルト投入消臭装置での環境緩和対策



粉塵計測器での常時粉塵発性状況の監視実施状況